

造船業を中心に急増する「特定技能」労働者の管理DXアプリを使って 愛媛県に人材が定着する仕組みを作っていく。

採択事業者名

KUROFUNE株式会社

コンソーシアム構成員

四国電熔 | 大西塗装 | 渡辺建設 | 仲渡工業

県内拠点設置

あり

所在・役割

今治市/営業・CS拠点

事業概要

1. 事業の狙い

愛媛県において「特定技能」労働者が造船業・建設業を中心に急増している。管理コストが高く、賃金が高い他県に流出している。「KUROFUNE PASSPORT」アプリを導入することで管理コストが1/3になり、その分を本人の昇給に充てることで人材の定着を図る。

2. 県内のターゲット事業者

「特定技能」労働者を雇用している企業
(造船業・建設業・介護事業者)

3. 紐づく課題

技能実習生の3年間の勤務が終わり、特定技能になるタイミングで賃金が高い隣県へと転職してしまうケースが多い。



4. 実施内容

7-9月：造船業を中心に「特定技能」労働者に関する課題のヒアリングの実施。

10-11月：「KUROFUNE PASSPORT」の新機能実装
実装企業へ説明会の実施。

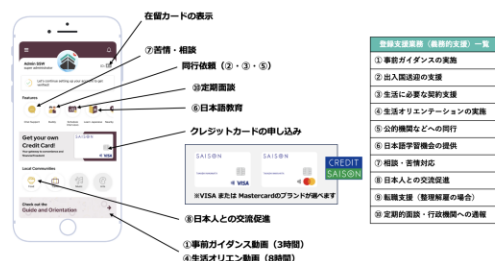
12-1月：「KUROFUNE PASSPORT」の実装開始。

2月：成果報告の取りまとめ。今治市で勉強会を実施



解決策(サービス/プロダクト)

「特定技能」労働者に対して入社後に行わなければならない支援業務を「KUROFUNE PASSPORT」というDXアプリを使って行う。業界平均の1/3の価格で提供することでコストカットを実現していく。



デジタル活用の要素

取得データ

外国人の雇用条件(給与・労働時間など)、離職率、日本語学習時間、業界の平均雇用条件(給与・労働時間など)、労働者が何に困っているのか。

データ活用による考察・示唆

今後はデータ数を増やす事によって、転職しそうな方を探ることができるように理、また企業も雇用条件を見直すことができるようになる。

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前	実装後(～今年度末)	今後3年の見込み (～2028年3月末時点)
経済効果	従来は「特定技能」労働者の管理に月額3万円の費用がかかっていた。	➢ 1,272万円 特定技能労働者の採用:600万円(2名の新規雇用を実現) 企業のコスト削減(7ヶ月):420万円 賃金アップによる消費(7ヶ月):252万円	➢ 14.3億円 特定技能労働者の紹介 30→150→400 特定技能者のアプリユーザー 100→300→800
KPI進捗	【KPI ①】 導入企業数 15社 【KPI ②】 事後アンケートでの 職場満足度 8.5 【KPI ③】 経済効果 1,248万円	導入企業数: 8(検討中含む) 結果サマリ 9.0 結果サマリ 1,272万円	-
デジタル人材輩出	【アクティブ】 アプリを使っている特定技能労働者 【ポテンシャル】 会社内でアプリを使って従業員の管理をしている人事・総務・経営陣 【関心層】 勉強会参加の事業者の人事・総務・経営陣	【アクティブ】 特定技能労働者数 40人 【ポテンシャル】 4社×3人 12人 【関心層】 10社×5人 50人	【アクティブ】 特定技能労働者数 800人 【ポテンシャル】 160社×3人 480人 【関心層】 50社×5人 250人
定性的/非連続な価値 (具体的な行動変容/組織変容など)	具体例 今治の造船クラスターへ入り込み、おんまく実行委員会や、FC今治との共催イベントを実施するなど、地域との強い関係を構築		

新規実装・協業に至った事例 ※県内

新規実装	四国電熔	本事業を通じた実装先拡大
新規実装	大西塗装	本事業を通じた実装先拡大
新規実装	渡辺建設	本事業を通じた実装先拡大
協業	今治造船	下請け会社さんへのご紹介
協業	FC今治	パリシッパ前哨試合を予定(5/11)

その他の“for 愛媛”要素

- ①FC今治との共同イベントの開催
2025年5月に市内に住む外国人を集めて国際試合を行う予定。
- ②県内雇用
今治市内で従業員を2人雇用(日本人、ベトナム人)
- ③今治市内のお祭り「おんまく」の実行委員